

口腔衛生学

責任者名：川戸 貴行

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

川戸 貴行(衛生学 教授)

森田 十誉子(衛生学 兼任講師)

五十里 一秋(小児歯科学 兼任講師)

杉本 淳(衛生学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

口腔疾患の発症に影響する宿主・環境要因ならびに個人と集団に対する口腔衛生活動について学び、口腔の健康と機能の維持増進の意義を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- ・口腔衛生（保健）学の定義と目標を説明できる。
- ・健康増進施策に関連する重要な事項（予防の水準を含む）を列挙し、その考え方に基づく歯科衛生活動を説明できる。
- ・口腔と全身の健康の関連性を具体的に述べることができる。
- ・齲蝕と歯周病を中心とする歯科疾患の予防法を病因論と予防の水準に関連付けながら説明できる。
- ・口腔の疾病・異常とそのリスク因子の評価（疫学指標を含む）の方法を具体的に述べることができる。
- ・疫学研究法の種類と特徴を具体的に列挙し、研究で得られる指標が持つ意味を説明できる。
- ・歯科疾患の疫学的特徴を保健統計調査の結果と関連付けて説明できる。
- ・歯口清掃に代表される口腔の衛生状態の改善、維持の方法を列挙し、口腔ケアの概念、ならびにセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアと関連付けながら説明できる。
- ・母子歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健、成人・高齢者歯科保健、障害者歯科保健、国際保健、災害時医療・保健を説明できる。

◆評価方法

授業内での小テスト（10%）、授業回とは別（6月3日と6月17日）に実施する平常試験（20%）と定期試験（70%）で評価する。

試験範囲は、6月3日の平常試験では第1～9回、6月17日の平常試験では第10～18回、定期試験ではすべての授業回とする。

授業内にて複数回に分けて平常試験を解説する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
------	-----------	-------------	----

川戸 貴行	水曜日 17:00~18:00 本館7階 衛生学講座	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	
森田 十誉子	質問等は授業終了直後に受ける。		
五十里 一秋	質問等は授業終了直後に受ける。		
杉本 淳	質問等は授業終了直後に受ける。		

◆授業の方法

教科書をもとに毎回の授業を進め、平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

小テストがある授業回では、授業開始時の出席確認に加えて期限内の課題提出で出席とする。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書1	口腔衛生学 2022	松久保 隆、八重垣 健、前野 正夫、他	一世出版	2022
教科書2	新編 衛生学・公衆衛生学	安井利一、他	医歯薬出版株式会社	2021
参考書1	口腔保健・予防歯科学第2版	安井利一、他	医歯薬出版株式会社	2023
参考書2	口腔診査法(5)	小川祐司、眞木吉信・宮崎秀夫、他 (訳)	口腔保健協会	2016

◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナリズム

コンピテンシー：4

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4, 7

コンピテンス5：医療の実践

コンピテンシー：7, 9

コンピテンス7：地域社会への貢献

コンピテンシー：1, 4

◆準備学習(予習・復習)

予習として、各回の学習項目を事前に確認し、教科書（2つの教科書を指定する回では上段の教科書は必ず）を読むこと。

復習として、小テスト（重要事項の書き出し）や配布資料で提示する確認事項を参照しながら授業を振り返ること。

◆準備学習時間

各授業回で1時間の予習と1時間の復習、合計60時間を準備学習時間にあてること。

◆全学年を通しての関連教科

第2学年 後期 プロフェッショナルリズムと行動科学

第2学年 後期 口腔組織学

第2学年 後期 口腔生化学

第2学年 後期 口腔生理学・口腔生化学実習

第3学年 前期 公衆衛生学

第3学年 前期 ベーシックカリオロジー

第3学年 後期 病原微生物と感染症

第6学年 前期 地域保健学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	5	1. 総論 1) 口腔衛生学の定義 (1) 口腔衛生学の領域と目標 (2) 歯科口腔保健の推進に関する法律（歯科口腔保健法） (教1) pp. 24-27 2) わが国の保健・医療・福祉・介護の制度と公衆衛生活動 (教1) pp. 28-36	・口腔衛生学の意義・目的を説明できる。 ・口腔衛生学では齲蝕と歯周病の予防が基本となる理由を説明できる。 ・歯科口腔保健の推進に関する法律の趣旨を理解し、基本的事項を列挙できる。 ・社会保障制度の枠組みの中で行われる健康診断、健康診査および保健指導を列挙できる。	川戸 貴行	B-1 健康の概念 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
2		4.4	6	1. 総論 3) 健康づくり（健康増進施策）と健康教育 (1) 健康増進施	・公衆衛生学の第1回講義（4月4日3限）の学修事項に関連づけて、歯科保健活動では健康増進の概念が重要であることを説明できる。 ・我が国の国民健康づくり運動であ	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-1) 予防の概念

				<p>策の世界的潮流とわが国の施策</p> <p>(2) 健康増進施策に関連する重要な事項</p> <p>(3) 健康教育 (教1) pp.37-53 (教2) pp.3-13</p> <p>4) 予防のレベル (1) 疾病の自然史 (2) 疾病予防の概念 (教1) pp.54-56 (教2) pp.14-17</p>	<p>る健康日本 21 にある歯と口の健康に関する項目を列挙し、本運動の基本的な方向性における歯科の位置付けを説明できる</p> <p>・疾病の予防のレベルを弁別し、齲蝕を例に説明できる。</p>		
3		4.11	5	<p>1. 総論</p> <p>5) わが国の口腔の健康状態及び保健行動の現状</p> <p>(1) 口腔保健に関する国家統計調査 (2) 口腔の健康状態 (教1) pp.57-79 (教2) pp.59-60</p>	<p>・口腔保健に関する各種保健統計調査を列挙し、目的や調査概要を説明できる。</p> <p>・歯科疾患実態調査と学校保健統計調査の結果から、歯の保有や齲蝕・歯周病等の疾患・異常の有病状況を説明できる。</p>	川戸 貴行	B-4-2) 保健医療統計
4		4.11	6	<p>1. 総論</p> <p>5) わが国の口腔の健康状態及び保健行動の現状</p> <p>(3) 保健行動 (教1) pp.76-79 (教2) pp.59-60</p> <p>6) 生活習慣と歯科疾患 (教1) pp.80-81</p>	<p>・歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査の結果をもとに、国民の歯科保健行動の現状を説明できる。</p> <p>・生活習慣（食習慣、喫煙、ストレス）と歯科疾患との関連性を説明できる。</p>	川戸 貴行	B-4-2) 保健医療統計
5		4.18	5	<p>2. 疫学</p> <p>1) 疫学概念 (1) 疫学の定義 (2) 疫学の対象</p>	<p>・疫学の定義、目的を説明できる。</p> <p>・疾病原因の多要因性と疫学要因の分類法を説明できる。</p> <p>・因果関係の判定の基準を列挙でき</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計

				<p>(3) 疫学要因 (4) 因果関係 (教2) pp.18-20 (教1) pp.84-86</p> <p>2) 疫学指標 (1) 有病率、罹患率 (2) リスク指標 (教2) pp.21-24 (教1) pp.84-86</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疫学における有病と罹患を弁別できる。 ・リスク指標である、相対危険、寄与危険、オッズ比の意味、算出概念を説明できる。 		
6		4.18	6	<p>2. 疫学 3) 疫学の研究方法 (1) 標本抽出 (2) 記述疫学 (3) 分析疫学 ①生態学的研究 ②横断研究 ③コホート研究 (教2) pp.24-26 (教1) pp.87-89</p>	<p>・疫学研究の方法を列挙し、仮説の設定、検証、因果関係の確証の流れと関連づけて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標本抽出方法を列挙し、概念を説明できる。 ・生態学的研究、横断研究、コホート研究の方法と特徴を理解し、着目疾患と因子の具体例を挙げて説明できる。 	川戸 貴行	<p>B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計</p>
7		4.25	5	<p>2. 疫学 3) 疫学の研究方法 (3) 分析疫学 ④症例対照研究 ⑤介入研究 (教2) pp.27-29 (教1) pp.87-89</p> <p>4) 誤差と交絡 (教2) pp.30-32 (教1) pp.105-106</p> <p>5) 科学的根拠 (エビデンス) (1) EBM (2) エビデンスのレベル (3) システマティックレビュー、メタアナリシス</p>	<p>・症例・対照研究の方法と特徴を理解し、着目疾患と因子の具体例を挙げて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コホート研究と症例・対照研究の違いを説明できる。 ・介入研究の方法と特徴を理解し、着目疾患と因子の具体例を挙げて説明できる。 ・選択バイアス、測定バイアス、交絡因子を弁別し、抑制方法を説明できる。 ・EBM の定義とステップを説明できる。 ・エビデンスレベルを説明できる。 ・システマティックレビュー、メタアナリシス、診療ガイドラインについて説明できる。 	川戸 貴行	<p>B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計</p>

				(教2) pp.32-36 (教1) pp.102-105		
8		4.25	6	2. 疫学 6) スクリーニング (1) スクリーニングの概念 (2) スクリーニング検査の指標 (3) カットオフ値の設定と ROC 曲線 (教2) pp.32-36 (教1) pp.99-101	・スクリーニング検査結果と疾病の有無の関係性(真陽性、偽陽性、真陰性、偽陰性)を説明できる。 ・敏感度、特異度、偽陰性率、偽陽性率、陽性反応的中度、陰性反応的中度の算出概念を説明できる。 ・検査の陽性/陰性を区分けするカットオフ値の設定による結果と疾病有無の区分の変化を説明できる。 ・ROC 曲線による検査の精度の評価を説明できる。	川戸 貴行 B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計
9		5.9	5	2. 疫学 7) 統計指標、統計解析 (1) 衛生学における統計学の必要性 (2) 集団のデータの扱い方 (3) データの視覚表現 (4) データの分布に関する統計量 (5) 正規分布 (6) 標本抽出 (7) 統計学的検定 (教2) pp.40-46 (教1) pp.90-97	・量的データと非数量データを弁別できる。 ・量的データと非数量データを視覚的に要約(グラフ化)する方法を列挙できる。 ・分布の中心を表す統計量、分布の散らばりを表す統計量を列挙・説明できる。 ・正規分布と統計学的検定の概念を理解し、主な検定法を列挙できる。	川戸 貴行 B-4-1) 歯科疾患の疫学 B-4-2) 保健医療統計
10		5.9	6	3. 口腔の機能 1) 口腔機能の維持増進の意義 (1) 口腔の機能とは (2) 咀嚼機能 (教1) pp.110-	・口腔の機能を列挙できる。 ・口腔機能を第2学年の教科で学修した歯の発生、歯の萌出と交換、顎骨の成長発育に関する知識に関連づけて説明できる。 ・第2学年の教科で学修した知識をもとに、唾液と歯科疾患のリスクと	川戸 貴行 B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理

			<p>114</p> <p>2) 口腔機能と発育</p> <p>(1) 歯の発生</p> <p>(2) 歯の萌出と交換</p> <p>(3) 顎骨の発育、成長</p> <p>(4) 味覚</p> <p>(5) 発音</p> <p>3) 摂食・嚥下機能</p> <p>(1) 正常な摂食・嚥下機能</p> <p>(2) 嚥下障害</p> <p>(教1) pp.115-118</p> <p>4. リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>1) 唾液</p> <p>(1) 唾液腺の種類と唾液の性状</p> <p>(2) 唾液の組成と機能</p> <p>(3) 唾液と歯科疾患</p> <p>(4) 唾液と口腔乾燥症</p> <p>(教1) pp.120-123</p>	<p>の関連性を説明できる。</p>		
11	5.16	5	<p>4. リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>2) 歯質</p> <p>(1) 歯の硬組織の組成</p> <p>(2) エナメル質の成熟</p> <p>(3) 表層エナメルと表層下エナメル</p>	<p>・齲蝕と歯周病の特徴を第2学年の教科で学修した歯と歯周組織の知識に関連して説明できる。</p> <p>・歯垢の病原性をバイオフィルムの概念をもとに説明できる。</p> <p>・歯肉縁上/縁下歯垢、歯肉縁上/縁下歯石の特徴を列挙し、齲蝕と歯周病の病原性に関連づけて説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>(教1) pp.124-125</p> <p>3) 歯周組織</p> <p>(1) 歯周組織の構造と機能</p> <p>(2) 歯肉溝滲出液</p> <p>(3) 歯槽骨の吸収</p> <p>(教1) pp.126-127</p> <p>4) バイオフィルム</p> <p>(1) 一般的なバイオフィルム</p> <p>(2) プラークの形成</p> <p>(3) プラークの口腔衛生学的意義</p> <p>(4) 歯石</p> <p>(教1) pp.128-134</p>			
12		5.16	6	<p>4. リスク評価と保健指導のための基礎事項</p> <p>5) 病原微生物</p> <p>(1) 口腔およびその周囲に存在する微生物の特徴</p> <p>(2) 病原性微生物を指標とした口腔疾患のリスク評価と予防法</p> <p>(教1) pp.135-137</p> <p>6) 口臭</p> <p>(1) 口臭症と歯科臨床</p> <p>(2) 口臭の臨床ガイドライン</p> <p>(教1) pp.144-150</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・齶蝕と歯周病のリスク評価と予防の観点で口腔内の微生物の特徴を説明できる。 ・口臭を原因と処置の必要性に応じて弁別できる。 ・口臭の主要な原因となる揮発性硫化物を列挙し、発生機序を説明できる。 ・口臭検査法の官能試験と機器分析のそれぞれの特徴を説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

13		5.23	5	<p>5. 歯科の二大疾患</p> <p>1) 病因論</p> <p>(1) 齲蝕の病因論</p> <p>(2) 歯周病の病因論</p> <p>(教1) pp.152-158</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕の3大要因を列挙し、ベーシックカリオロジー第8-14回講義での学修内容との関連性を説明できる。 ・ 歯周病の3要因を症状と関連づけて説明できる。 ・ 歯周病のリスク因子を3要因別に弁別できる。 ・ 齲蝕の肉眼的所見を列挙できる。 ・ 健康歯肉の肉眼的所見を列挙できる。 ・ 歯肉炎と歯周炎を弁別できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
14		5.23	6	<p>5. 歯科の二大疾患</p> <p>2) 齲蝕と歯周病の疫学</p> <p>(1) 齲蝕の疫学的特徴</p> <p>(2) 歯周病の疫学的特徴</p> <p>(3) 不正咬合、顎関節症の疫学</p> <p>(4) 口腔がんの疫学</p> <p>(教1) pp.163-172</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕と歯周病の疫学的特徴を列挙し、病因論と関連づけて説明できる。 ・ 不正咬合と口腔がんの疫学的特徴を列挙し、発生要因と関連づけることができる。 ・ 齲蝕、歯周病、不正咬合の疫学的特徴が歯科保健活動に反映されていることを知り、第26～30回の講義に向けて準備ができる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
15		5.30	5	<p>5. 歯科の二大疾患</p> <p>4) 全身状態との関連性</p> <p>(1) 糖尿病と歯周病</p> <p>(2) 心血管系疾患と歯周病</p> <p>(3) 呼吸器感染症と歯周病</p> <p>(4) 骨粗鬆症と歯周病</p> <p>(5) 早産・低体重児出産と歯周病</p> <p>(6) 周術期の口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科疾患と関連する生活習慣病などの疾病・異常を列挙し、関連の機序を説明できる。 ・ 周術期の口腔ケアの意義を説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>腔ケア（口腔機能管理） （教1）pp.173-178</p>			
16		5.30	6	<p>6. 口腔状態と口腔機能の評価と指標 1) 歯周病の指標 （1）PMA index （2）GI （3）CPI （4）CPI 変法 （5）PI （6）PDI （7）GB （教1） pp.198-203</p>	<p>・歯周疾患に関する代表的な疫学指標の使用目的と特徴を学び、説明できる。 ・歯肉炎と歯周炎に関する指標の診査基準を理解し、指標による集団特性の評価法を学び、事例から算出できる。</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学
		6.3	4	<p>平常試験 1</p>	<p>・本講義の第1～9回に関する内容の理解度を試験によって確認する。</p>		B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
17		6.6	5	<p>6. 口腔状態と口腔機能の評価と指標 2) 歯口清掃の指標 （1）OHI （2）OHI-S （3）PHP （4）PCR （5）PII （教1）pp.204-207 3) その他の口腔の状態を表す指標 （1）歯のフッ素症とCFI （2）不正咬合 DAI （教1）pp.208-209</p>	<p>・歯周疾患に関する代表的な疫学指標の使用目的と特徴を学び、説明できる。 ・歯肉炎と歯周炎に関する指標の診査基準を理解し、指標による集団特性の評価法を学び、事例から算出できる。</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学
18		6.6	6	<p>6. 口腔状態と口腔機能の評価と指標 4) 歯科集団健康診</p>	<p>・歯科集団健康診査の目的・意義について理解し、説明できる。 ・疾病スクリーニングとリスクスク</p>	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学

				<p>査の理論と実際</p> <p>(1) スクリーニング</p> <p>(2) 歯科集団健康診査</p> <p>(3) 診査誤差とその抑制</p> <p>(教1) pp.217-228</p>	<p>リーニングの違いを説明できる。</p> <p>・歯科集団健康診査の方法の基本を学び、要点を列挙できる。</p>		
19		6.13	5	<p>6. 口腔状態と口腔機能の評価と指標</p> <p>5) 歯周病のリスク評価</p> <p>(1) 歯周病の分類</p> <p>(2) 歯周病のリスクファクター</p> <p>(3) 臨床における歯周病のリスクアセスメント</p> <p>(教1) pp.246-254</p> <p>7. 歯科疾患の予防方法</p> <p>1) 歯科疾患の予防方法の特徴</p> <p>(教1) pp.258-259</p>	<p>・歯周疾患のリスク診断の概念を理解し、説明できる。</p> <p>・歯科疾患の予防におけるセルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティ（パブリック）ケアを弁別できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
20		6.13	6	<p>7. 歯科疾患の予防方法</p> <p>2) 口腔ケア</p> <p>(1) 定義・種類・方法</p> <p>(教1) pp.268-271</p> <p>3) 専門家による機械的歯面清掃</p> <p>(PMTC) と超音波デブライドメントによる歯冠部、歯根面、歯肉縁下</p>	<p>・セルフケア、プロフェッショナルケア、パブリックケアの概念とそれぞれの特徴について学び、弁別できる。</p> <p>・口腔ケアの定義、種類、方法について知り、説明できる。</p> <p>・専門家による機械的歯面清掃法の目的と方法を学び、説明できる。</p> <p>・スケーリングとルートプレーニングと歯周病の第1次予防と2次予防の関係性を説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>プラークの除去とバイオフィルム構造の破壊</p> <p>(1) 目的と意義</p> <p>(2) 用いられる器具および材料</p> <p>(3) 術式</p> <p>(教1) pp.272-274</p> <p>4) スケーリング</p> <p>(1) スケーリングの目的</p> <p>(2) 歯肉縁下へのアプローチ (ルートプレーニング)</p> <p>(教1) pp.295-297</p>			
		6.17	3	平常試験2	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の第10～18回に関する内容の理解度を試験によって確認する。 		B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
21		6.20	5	<p>7. 歯科疾患の予防方法</p> <p>5) 口腔清掃</p> <p>(1) 口腔清掃からみた歯面</p> <p>(2) プラークコントロール</p> <p>(3) 歯ブラシによる清掃</p> <p>(4) 誤った歯ブラシの使用による害</p> <p>(教1) pp.307-313</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科疾患の予防の基本となる歯口清掃の意義を理解し、説明できる。 ・手用歯ブラシによるブラッシング法を、毛先を使う方法と毛の脇腹を使う方法に分類し、説明できる。 ・電動歯ブラシによる清掃の特徴を列挙できる。 ・補助的清掃器具を列挙し特徴を説明できる。 ・誤ったブラッシングの使用による害を列挙できる。 	川戸 貴行	<p>B-3-1) 予防の概念</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
22		6.20	6	<p>7. 歯科疾患の予防方法</p> <p>5) 口腔清掃</p> <p>(5) 歯磨剤</p> <p>(6) 洗口剤</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨剤と洗口の役割、基本成分と薬用成分を列挙し、作用と関連づけて説明できる。 ・口腔粘膜の清掃に用いる器材を列挙できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>(7) 口腔粘膜の清掃</p> <p>(8) 口腔清掃指導</p> <p>(教1) pp.313-317</p>	<p>・齲蝕、歯周病の年齢特性、口腔の状況、手指の動作の巧緻性を考慮した口腔清掃指導の重要性を説明できる。</p>		
23		6.27	5	<p>7. 歯科疾患の予防方法</p> <p>6) 禁煙支援</p> <p>(1) 禁煙支援の意義</p> <p>(2) タバコの依存性</p> <p>(3) 禁煙支援</p> <p>(4) 受動喫煙の防止</p> <p>(教1) pp.318-321</p>	<p>・第2学年教科プロフェッショナルリズムと行動科学での学修を踏まえ、歯科臨床における禁煙支援の意義を説明できる。</p> <p>・禁煙支援の方法を説明できる。</p>	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
24		6.27	6	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>1) 母子歯科保健</p> <p>(1) 母子歯科保健の意義・目的および特徴</p> <p>(2) 乳幼児の口腔の特徴と歯科保健</p> <p>(3) 妊産婦の特徴と歯科保健</p> <p>(4) 歯科保健対策</p> <p>(教1) pp.336-364</p> <p>(教2) pp.149-161</p>	<p>・わが国における口腔保健に関する公衆衛生活動の要点を列挙できる。</p> <p>・公衆衛生学第9回(6月6日)での学修事項を踏まえ、母子歯科保健の意義を説明できる。</p> <p>・妊産婦と乳幼児の口腔の好発疾患を列挙できる。</p> <p>・母子歯科保健対象者、関連法規を列挙、説明できる。</p>	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
25		7.4	5	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>1) 母子歯科保健</p>	<p>・母子歯科保健活動における歯科医師の役割を理解し、説明できる。</p> <p>・妊産婦に対する歯科保健対策の内</p>	五十里 一秋	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				<p>(5) 母子歯科保健活動の実際</p> <p>①妊産婦検診</p> <p>②1歳6か月児歯科健康診査</p> <p>③3歳児歯科健康診査</p> <p>(教1) pp.336-365</p>	<p>容について知り、要点を列挙できる。</p> <p>・1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査における歯科健康診査の内容について知り、要点を列挙できる。</p>		B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理
26		7.4	6	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>2) 学校における歯科保健</p> <p>(1) 学校歯科保健の意義と学齢期好発疾患の現状</p> <p>(2) 学校(歯科)保健活動</p> <p>(3) 「心身の発達の段階からみた子供の歯・口の健康づくり」の課題</p> <p>(4) 特別支援学校・特別支援学級等での歯科的対応の基本</p> <p>(5) 学校歯科医と児童虐待の関わり</p> <p>(教1) pp.365-375</p> <p>(教2) pp.162-178</p>	<p>・公衆衛生学第10回(6月13日)での学修事項を踏まえ、学校歯科保健の意義を説明できる。</p> <p>・学齢期の好発歯科疾患を列挙できる。</p> <p>・学校歯科保健対象者、関連法規を列挙、説明できる。</p> <p>・学校保健教育・保健管理・組織活動を説明できる。</p> <p>・学校歯科健康診断で用いる記号を診査所見と事後措置と関連づけて説明できる。</p> <p>・学校歯科健康診断の流れを説明できる。</p> <p>・心身の発達段階からみた子ども歯・口の健康づくりの趣旨を説明できる。</p> <p>・特別支援学校・学級での歯科的対応、学校歯科医と児童虐待について概説できる。</p>	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理
27		7.11	5	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>3) 職域成人の歯科保健</p> <p>(1) 産業歯科保健の意義</p> <p>(2) 労働衛生の3管理</p>	<p>・公衆衛生学第11回(6月20日)での学修事項を踏まえ、職域成人を対象とした保健の意義を概説できる。</p> <p>・職業性の酸蝕症について説明できる。</p> <p>・職業性歯科疾患対策を例に作業環境管理・作業管理・健康管理を説明</p>	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の子防と健康管理

				<p>(3) 職業性歯科疾患 (教1) pp.376-388 (教2) pp.179-191</p> <p>4) 成人および高齢者の歯科保健 (1) 成人歯科保健の意義 (2) 成人歯科保健対策 (3) 特定健康診査・特定保健指導 (教1) pp.389-394 (教2) pp.192-210</p>	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業性歯科疾患と特殊健康診断について説明できる。 ・公衆衛生学第12回(6月27日)と第13回(7月4日)での学修事項を踏まえ、成人歯科保健の意義を概説できる。 ・健康増進法に基づく市町村による成人歯周疾患健診について説明できる。 ・特定健康診査・特定保健指導、介護保険制度での歯科の関わりを説明できる。 		
28		7.11	6	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健 4) 歯周病とメタボリックシンドロームに関する疫学研究 (1) メタボリックシンドロームの概念 (2) 特定健康診査特定保健指導 (3) 歯周病とメタボリックシンドロームの関連性 資料配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの概念と対策の重要性について理解し、説明できる。 ・メタボリックシンドローム対策である特定健康診査特定保健指導について説明できる。 ・歯周病とメタボリックシンドロームとの間に関連性があることを、横断研究(J Pub Health Dent 69, 248-253, 2009)とコホート研究(J Periodontol 84, 512-519, 2010)の結果から学び、事例から疫学指標を算出できる。 	森田 十誉子	<p>A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>
29		7.18	5	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健 5) 高齢者の歯科保健 (1) 老人と加齢 (2) 高齢者の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学第12回(6月27日)と第13回(7月4日)での学修事項を踏まえ、高齢者の歯科保健の意義を概説できる。 ・口腔清掃の自立度判定基準(BDR指標)を説明できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-2) 歯科疾</p>

				<p>ADL と QOL</p> <p>(3) 介護保険制度と口腔機能の向上プログラム</p> <p>(教1) pp.395-403</p> <p>(教2) pp.211-222</p> <p>5) 障害者の歯科保健</p> <p>(1) 障害児・者の歯科保健医療管理</p> <p>(教1) pp.404-416</p> <p>(教2) pp.223-232</p>	<p>・公衆衛生学第14回(7月11日)での学修事項を踏まえ、障害者歯科保健の分野の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。</p>		<p>患の予防と健康管理</p>
30		7.18	6	<p>8. 公衆衛生活動・地域保健</p> <p>6) 災害時の歯科保健医療</p> <p>(教1) pp.322-327</p> <p>(教2) pp.145-148</p>	<p>・公衆衛生学第15回(7月18日)での学修事項を踏まえ、災害保健・医療について説明できる。</p> <p>・大規模災害における歯科の役割について説明できる。</p>	杉本 淳	<p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p> <p>B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>

